

平成28年度(27年度実績) 総合評価書 <施設名 ふれあいセンター姫>

1. 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	平成23年 4月 1日 ~ 平成28年 3月 31日
3. 業務の範囲	(1)ふれあいセンターの事業の実施に関する業務 (2)ふれあいセンターの使用許可業務 (3)ふれあいセンターの維持管理に関する業務 (4)管理運営業務 (5)目的外使用許可にかかる事務 (6)その他ふれあいセンターの管理運営に必要な業務

4. 採点表

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
1 運営・ 利用状 況 (40点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	-	<p>平均値比(注) 105%以上:5点、 105%未満~95%: 4点、95%未満~ 85%:3点、85%未 満:2~0点</p> <p>平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)、(2)又は(3)</p>	<p>平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不相当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値</p>	<p>児童センターは、開館時間中(10:00~18:00)は自由来館 老人センターは、開館時間中(9:00~17:00)は自由来館</p>	
		②利用人数	10	<p>平均値比(注) 105%以上:5点、 105%未満~95%: 4点、95%未満~ 85%:3点、85%未 満:2~0点</p> <p>(2)に該当 ①部屋使用 $32 \div ((208+173+174+94) \div 4) \approx 20\%$ ②児童センター $7,509 \div ((8,329+8,485) \div 2) \approx 89\%$ ※今回は指定管理5年目の評価であるので本来は上記(2)に該当するが、25年度に利用人数のカウント方法を延べ人数から実数へと見直したため、算出に見直し前の24年度数値を使用するのは実態にそぐわないため、25年度・26年度の平均利用人数を利用し平均値比を求める ③老人センター $11,592 \div ((12,298+10,372+10,871+11,838) \div 4) \approx 102\%$ ④その他使用 $2,701 \div 2,231 \approx 121\%$ ※26年度に利用者数のカウントを会議室利用のみから施設見学者も加えることに変更。平均値を利用するのではなく、前年度比較で平均値比を算出。 全体 $21,834 \div 22,145 \approx 99\%$</p>	<p>南姫地域は多治見市の端に位置し、人口も減少している地域である。利用者の大幅な増加は望めないが、地域の自治組織、園や小中学校、公民館や民協等の団体と連携した行事の開催、利用者の意見や参加者からのアンケートなどで意向を確認し、事業展開した結果、満足度の高いほぼ前年並みの利用を保持できた。 ①部屋使用 目的外定期利用団体が解散、指定管理事業で使用するため空いている貸部屋がほとんどない状況の施設である。 ②児童センター 少子化による児童数の減少による利用減もあるが、中でも親育ち4363モデル校区として乳幼児親子の利用拡大につなげ、中高校生の居場所づくりにも力を入れた。 ③老人センター 高齢者は健康に関する事業に高い関心があり、自立支援に繋げる事ができるような教室に力を入れた。地域がらセンターに来られない方たちには、移動老人センターを定期的に開催。また、誰でも気楽に参加できる単発の講座や交流事業も取り入れて事業展開した。 ④その他使用 施設見学や施設全体行事、地域と連携した多世代交流事業開催等の増加によるもの。</p>	105%未 満~95% 4点
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	<p>仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点</p>	<p>南姫児童センター「事業評価表」別紙のとおり。事業評価表より平均13点 南姫老人センター「事業評価表」別紙のとおり。事業評価表より平均12点</p>	<p>仕様書以上 13点</p>	<p>【児童センター】 ・仕様書の事業をすべて目標回数以上行い、適正に実施した。 ・地域や施設内の老人センターとも連携した事業を実施している。 ・乳幼児、多世代間交流で新規事業に取り組んだ。 ・親育ち4・3・6・3多治見プランのモデル校区として、妊婦対象事業を充実した。 【老人センター】 ・市の仕様書に忠実に事業を行い、仕様書の予定回数を上回る事業を開催した。</p>
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	<p>内容・事業数等が期待以上:15~12点、内容・事業数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る:2~0点</p>	<p>南姫児童センター「事業評価表」別紙のとおり。事業評価表より平均13点 南姫老人センター「事業評価表」別紙のとおり。事業評価表より平均12点</p>	<p>期待以上 13点</p>	<p>【児童センター】 ・地域交流や父親参加事業で新規事業に取り組むなど、地域の特性を活かした事業を適正に実施した。 ・同指定管理者の児童館の交流事業を積極的に実施した。 【老人センター】 ・複合施設の利点を活かし、協力連携した自主事業を実施した。</p>	13点

2	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	以下のとおり適正に実施 ・通常清掃(毎日)、床・ガラス清掃(2回/年)、害虫防除(2回/年)、貯水槽清掃(1回/年)、 厨房雑排水管高圧洗浄及びグリストラップ吸引洗浄(2回/年)、玄関マット・モップ交換(1回/2週間)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
		②保守・点検		①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	以下のとおり適正に管理 ・保守点検:空調(4回/年)、自家発電装置・ボイラー・消防用設備・自動ドア警報設備(2回/年)、エレベータ・浄化槽(1回/月)、浄化槽精密検査・地下タンク(1回/年) ・運動遊具(3回/年) ・パソコンサポート(随時)	適正(普通) 2点		適正に実施されている。
		③保安・警備		夜間セキュリティ管理(毎日業者委託し実施)、警備・電気保安業務(目視、施錠等毎日実施)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		④小規模修繕		※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり:2点	①施設全般:防犯センサーライト取付、誘導灯・スポット・LED交換、ろ過ポンプ・ろ過装置修繕、循環器フィルター・ジェットポンプ・換気扇・出湯管・手洗器取替修繕、機械室土間コンクリート修繕 ②児童センター:砂場(フン被害防止)整備修繕 ③老人センター:ビデオケーブルS端末修繕、観賞樹用敷台修繕、テーブル移動用台修理 *①~③について仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕を行った。	適正(普通) 2点		速やかに実施されている。
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		建物・遊具安全チェック(H27.7.14、H27.12.8、H28.3.22)実施、目視は毎日実施、異常なし	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	市の文書管理方法(ファイリング)を参考に管理	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	11点	
		②環境への配慮		多治見市の環境方針に準じて対応 ・メール活用し紙使用削減 ・資源ごみリサイクル実施 ・休憩時間の消灯等による節電 *施設目標管理に光熱水費削減を掲げ実施 ・クールビズ実施掲示と実行 ・使用済み封筒連絡用等に再利用 ・個人情報を守り裏紙再利用	期待以上 3点	施設目標管理に光熱水費削減を掲げ約12%減を実行し、継続中		
		③バリアフリー		・施設はバリアフリー化されている。 ・車椅子利用者、視覚の不自由な方の支障にならない物品配置に配慮	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		④備品管理		備品台帳にて適切に管理 ・耐用年数の過ぎているものをチェックし、修繕・買換え・廃棄処分等の対応実施	適正(普通) 2点	適正に実施		
		⑤個人情報保護		社会福祉協議会として「個人情報保護管理規程」を作成、適正管理	適正(普通) 2点	適正に実施		
		⑥事故等への対応		事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	施設:2階機械室に保管していたろ過機注入用「次亜塩素酸ナトリウム(20kg入食品添加物)」が漏れ、コンクリ床と1階の包括事務所のパソコン機器に一部被害あり。機器配置変換、薬品保管場所変更等対応、市へ事故報告書提出 児童センター・老人センター:事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点		市への報告は迅速に行われ、事故後の対応も適切に実施された。
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満~100%:4点、100%未満:3点	①施設管理 20,620,752÷17,293,247=119.2%→119% ②児童センター 8,072,080÷8,806,050=91.6%→92% ③老人センター 6,166,753÷6,421,265=96.0%→96% 全体 34,859,585÷32,520,562=107.1%→107%	105%以上 5点	照明のLED化等による光熱水費の削減により、良好な事業収支となった。	5点

4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10~8点、適正(普通):7~5点、不備あり:4~1点	①施設にアンケートボックスを設置し、随時意見を受け付けている。 ②児童センターではデイキャンプ、前期と後期乳幼児各6クラブ、子どもスタッフまつり、親子4.3.6.3プレママサロンの5事業でアンケートを行った。友達と遊べて楽しかった、親も交流できた、次も参加したいなどの意見が多く、今後も計画に反映させる。 ③老人センターでは12月に利用者アンケートを約110名に行った。60~70代の女性で南郷近郊の方が多く利用されている。また、福祉体験アンケート、大学生による買物等生活に関するアンケートにも協力して実施した。	期待以上 9点	定期的なアンケートに加え、新たなアンケートを実施、利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。	9点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3~1点 ※苦情なしは4点とする	なし	苦情なし・適正(普通) 4点		4点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15~12点、適正(普通):11~9点、普通未満~物足りない:8~0点	・地域住民の結びつきが強く自治組織や地区民協等も協力が大きいことから、事業の周知・利用促進を図ることができた。 ・社協内で連携して合同行事を開催するなど、自主事業も活発に行うことができた。 ・複合施設の利点を活用して各センターが企画する施設行事は、できる限り施設全体で連携するようにし、老人、子ども、親子、障がい者など多世代間の交流・地域との交流を図ることができた。 *上記の結果、施設内の合同事業が増え、その他利用の増加につながったことと、教室やクラブ参加希望者が増え収入が増加した。	期待以上 12点	自治会組織や地区民協等と良好な関係を保ち、地域のつながりを生かし利用促進を図っている等高く評価できる	12点	
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適切に対応	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点	
合計		100	【4段階評価】 極めて良好 100~85点 良好 84~65点 努力が必要 64~45点 取消し等を検討 44点以下					合計85点		
								全体的な評価 ・適切な管理がなされている。 ・ニーズの把握や地域の連携に努め、より良い事業の実施に向けた姿勢が極めて良好		極めて良好